



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 上場取引所 東
コード番号 8769 URL <https://www.armg.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥越慎二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部 (氏名) 天田貴之 TEL 03-5794-3800
ディビジョンマネジャー
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-------|------|-------|---------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 3,360 | 6.9 | 158 | 142.1 | 166 | 122.5 | △125 | — |
| 2024年3月期中間期 | 3,142 | 8.5 | 65 | 400.7 | 74 | 947.9 | 46 | — |

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △125百万円 (—) 2024年3月期中間期 46百万円 (—)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期中間期 | △7.62 | — |
| 2024年3月期中間期 | 2.77 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 8,490 | 3,346 | 38.8 |
| 2024年3月期 | 6,545 | 3,980 | 60.0 |

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 3,295百万円 2024年3月期 3,929百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 12.00 | 12.00 |
| 2025年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2025年3月期（予想） | — | — | — | 15.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,500 | 21.5 | 940 | 29.5 | 940 | 27.5 | 650 | 28.6 | 40.28 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 有

新規 2 社 株式会社Mediplat、株式会社フィッツプラス

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(当中間期における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2025年3月期中間期 | 17,280,200株 | 2024年3月期 | 17,280,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期中間期 | 1,165,554株 | 2024年3月期 | 590,851株 |
| ③ 期中平均株式数(中間期) | 2025年3月期中間期 | 16,294,264株 | 2024年3月期中間期 | 16,682,513株 |

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式(2025年3月期中間期 308,200株, 2024年3月期 308,200株)が含まれております。また、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2025年3月期中間期 308,200株, 2024年3月期中間期 308,200株)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものです。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料] P. 4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当中間期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当中間期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 7 |
| 中間連結損益計算書 | 7 |
| 中間連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (当中間期における連結範囲の重要な変更) | 10 |
| (セグメント情報等の注記) | 11 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善するなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、ウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の悪化、中国経済の先行き懸念、円安や物価上昇による影響など、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは、「企業に未来基準の元気を！」というコーポレートメッセージの下、人々が「安心して働ける環境」と企業の「活力ある個と組織」をみなさまと共に創り出すことをミッションに、ウェルビーイング関連領域（＊）の事業活動を展開いたしました。2024年5月に策定した「中期経営計画2026」（2024年度～2026年度）につきましては、“効果につながるプラットフォームとソリューションをより多くの企業に提供しウェルビーイング領域における圧倒的地位を目指す”を骨子とし、実効性のある豊富で質の高いサービスをワンストップで提供することにより、顧客企業の真のパートナーとしてウェルビーイング経営を支援することを基本方針としております。具体的には、(1) 「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」（**）を基軸とした総合販売の継続と進展、(2) 既存事業のオーガニックグロース強化、(3) 飛躍的成長のための新たな取り組みの推進、(4) チャネル販売の推進、(5) システム・業務改革の推進および収益性の向上を重点テーマとして各種施策を展開いたします。

当中間連結会計期間におきましては、「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を軸に顧客企業への複数サービス提供の総合提案営業を引き続き推進し、新規顧客の獲得とウェルビーイング関連の事業領域における課題解決ニーズに対応した様々なソリューションの提案活動を行ってまいりました。また、オンライン医療相談や産業医紹介サービスなど企業の産業保健支援を主力事業としてクラウド型健康管理サービス「first call」を提供する株式会社Mediplatと特定保健指導サービスを主力事業として展開する株式会社フィッツプラスを、2024年9月30日を効力発生日として両社の全事業を会社分割（吸収分割）により当社の連結子会社が承継いたしました。本件各吸収分割に伴う影響は、2025年3月期第3四半期から連結業績向上に寄与する見込みです。

（＊）当社事業における心身の健康、従業員の成長、リスクの予防と発生時の支援、両立支援、福利厚生、余暇支援、会社との一体感醸成等の業務領域

（**）ストレスチェック義務化対応プログラム「アドバンテッジ タフネス」による調査結果や健康診断結果など心身の健康データや、勤怠・休業等の人事労務情報を集約し、ダッシュボードでの見える化、データ分析、課題抽出、効果的なソリューションの提案を行うデータマネジメントプラットフォーム

当中間連結会計期間の売上高につきましては、メンタリティマネジメント事業及び就業障がい者支援事業が堅調に推移し、増収となりました。費用面につきましては、従業員の賃金アップに伴う人件費の増加、成長戦略に基づくシステム投資に伴うソフトウェア償却費など経費負担は増加いたしました。売上高が伸長したことにより増益となりました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は3,360百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は158百万円（前年同期比142.1%増）、経常利益は166百万円（前年同期比122.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は連結子会社Resily社に対するのれんおよび同社事業の固定資産について、減損損失を計上した影響等により125百万円の損失（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益46百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

（メンタリティマネジメント事業）

当事業におきましては、ストレスチェックやエンゲージメントサーベイを起点に組織改善までを担うワンストップサービス「アドバンテッジ タフネス」の新規顧客の獲得に注力いたしました。また、組織改善のPDCAを加速するパルスサーベイシステム「アドバンテッジ p d c a（ピディカ）」の導入などエンゲージメント領域の拡大や顧客企業の課題解決ニーズに対応した効果につながる様々なソリューションの提案活動を推進いたしました。

当中間連結会計期間の売上高につきましては、「アドバンテッジ タフネス」の販売価格改定の効果やソリューション売上が堅調に推移し増収となりました。費用面につきましては、人件費やシステム投資に伴う償却費負担の増加により経費負担が増加いたしました。売上高が伸長したことにより増益となりました。

これらの結果、メンタリティマネジメント事業の売上高は2,508百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は298百万円（前年同期比34.6%増）となりました。

(就業障がい者支援事業)

当事業におきましては、新たな連携先との関係構築及び既存連携先との関係深化によるGLTD (Group Long Term Disability: 団体長期障害所得補償保険) の新規顧客開拓に取り組みました。また、会社と傷病休のほか産休・育休・介護休業等により休業中の従業員を繋ぎ、人事部門の負担とリスクの軽減と休業者の復職や仕事の両立をサポートする休業者管理支援クラウドサービス「ADVANTAGE HARMONY (アドバンテッジハーモニー)」の営業活動を推進いたしました。

当中間連結会計期間の売上高につきましては、GLTD販売および「ADVANTAGE HARMONY (アドバンテッジハーモニー)」の新規契約が堅調に推移し増収となりました。費用面につきましては、システム関連など経費負担が増加いたしました。売上高が伸長し、増益となりました。

これらの結果、就業障がい者支援事業の売上高は710百万円 (前年同期比14.4%増)、セグメント利益は115百万円 (前年同期比71.6%増) となりました。

(リスクファイナンス事業)

主に企業等に勤務する個人を対象として保険商品を販売している当事業におきましては、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比で減収となりました。費用面につきましては、効率的なオペレーション業務体制の維持によりコスト抑制に努めました。

これらの結果、リスクファイナンス事業の売上高は141百万円 (前年同期比6.0%減)、セグメント利益は97百万円 (前年同期比12.4%減) となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産・負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末より1,944百万円増加し、8,490百万円となりました。流動資産は703百万円増加し、3,559百万円となりました。これは主に、吸収分割により取得した事業により各流動資産項目が増加したことによるものです。固定資産は1,241百万円増加し、4,930百万円となりました。これは主に、Resily事業にかかる固定資産の減損損失計上による減少があった一方で、吸収分割により取得した事業によりのれんや無形固定資産が増加したことによるものです。

当中間連結会計期間末の負債は前連結会計年度末より2,578百万円増加し、5,143百万円となりました。流動負債は971百万円増加し、3,180百万円となりました。これは主に、新規の借入により1年内返済予定の長期借入金が増加したこと、吸収分割により取得した事業により各流動負債項目が増加したことによるものです。固定負債は1,606百万円増加し、1,962百万円となりました。これは主に、新規の借入により長期借入金が増加したことによるものです。

当中間連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末より633百万円減少し、3,346百万円となりました。これは主に、配当を実施したこと、自己株式の取得を実施したことによるものです。

なお、保険会社に帰属する保険料で当社の口座に残高のあるものについては、保険代理店勘定及び保険料預り金として対照勘定処理を行っております。これらを除いた場合の自己資本比率は39.6%となります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) は前連結会計年度末より497百万円増加し、1,919百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,136百万円 (前年同期比10.0%減) となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失68百万円、前受収益の増加額が798百万円、減価償却費が366百万円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,870百万円 (前年同期比222.8%増) となりました。これは主に、無形固定資産の取得に伴う支出が332百万円、吸収分割による支出が1,501百万円になったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,230百万円 (前年同期は177百万円の支出) となりました。これは主に、長期借入による収入が1,822百万円、自己株式の取得による支出が308百万円、配当金の支払が203百万円となったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日の「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては2024年11月14日公表の「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、本資料発表日現在予測可能な株式数の増減を反映させた期中平均株式数を元に算出しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,428,867 | 1,929,662 |
| 売掛金 | 1,073,957 | 1,174,522 |
| 保険代理店勘定 | 192,922 | 171,344 |
| その他 | 159,921 | 283,614 |
| 流動資産合計 | 2,855,668 | 3,559,144 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物附属設備 | 322,427 | 323,567 |
| 減価償却累計額 | △199,908 | △208,589 |
| 建物附属設備(純額) | 122,519 | 114,977 |
| 工具、器具及び備品 | 161,482 | 170,371 |
| 減価償却累計額 | △136,832 | △140,849 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 24,650 | 29,521 |
| リース資産 | 6,600 | 6,600 |
| 減価償却累計額 | △831 | △1,491 |
| リース資産(純額) | 5,768 | 5,108 |
| 有形固定資産合計 | 152,937 | 149,608 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 273,062 | 958,256 |
| ソフトウェア | 2,034,092 | 1,925,374 |
| ソフトウェア仮勘定 | 311,365 | 468,635 |
| その他 | 13,619 | 14,419 |
| 無形固定資産合計 | 2,632,139 | 3,366,685 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 557,579 | 557,579 |
| 敷金及び保証金 | 177,994 | 205,789 |
| 繰延税金資産 | 156,654 | 638,942 |
| その他 | 12,269 | 12,353 |
| 投資その他の資産合計 | 904,499 | 1,414,666 |
| 固定資産合計 | 3,689,576 | 4,930,960 |
| 資産合計 | 6,545,244 | 8,490,104 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 170,000 | 170,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 46,967 | 226,416 |
| 未払金 | 332,085 | 453,420 |
| 未払法人税等 | 181,815 | 87,748 |
| 前受収益 | 757,222 | 1,589,695 |
| 保険料預り金 | 192,922 | 171,344 |
| リース債務 | 1,452 | 1,452 |
| 賞与引当金 | 209,212 | 262,424 |
| 役員賞与引当金 | 3,454 | 5,872 |
| その他 | 314,013 | 212,568 |
| 流動負債合計 | 2,209,146 | 3,180,942 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 121,229 | 1,685,176 |
| 株式給付引当金 | 151,278 | 169,257 |
| リース債務 | 5,014 | 4,288 |
| 資産除去債務 | 78,055 | 103,841 |
| 固定負債合計 | 355,577 | 1,962,562 |
| 負債合計 | 2,564,723 | 5,143,505 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 365,964 | 365,964 |
| 資本剰余金 | 317,554 | 317,554 |
| 利益剰余金 | 3,840,075 | 3,508,428 |
| 自己株式 | △594,203 | △896,478 |
| 株主資本合計 | 3,929,390 | 3,295,468 |
| 新株予約権 | 51,130 | 51,130 |
| 純資産合計 | 3,980,520 | 3,346,599 |
| 負債純資産合計 | 6,545,244 | 8,490,104 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|-------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 売上高 | 3,142,091 | 3,360,044 |
| 売上原価 | 980,142 | 1,025,534 |
| 売上総利益 | 2,161,948 | 2,334,509 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,096,483 | 2,175,999 |
| 営業利益 | 65,465 | 158,509 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 8,407 | 10,208 |
| 未払配当金除斥益 | 388 | 363 |
| 助成金収入 | 1,092 | 659 |
| その他 | 164 | 714 |
| 営業外収益合計 | 10,052 | 11,945 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 783 | 1,490 |
| その他 | 3 | 2,697 |
| 営業外費用合計 | 786 | 4,187 |
| 経常利益 | 74,731 | 166,267 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 2,143 | — |
| 特別利益合計 | 2,143 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 234,699 |
| 固定資産除却損 | — | 9 |
| 特別損失合計 | — | 234,708 |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△) | 76,875 | △68,441 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 41,838 | 69,197 |
| 法人税等調整額 | △11,144 | △12,172 |
| 法人税等合計 | 30,694 | 57,024 |
| 中間純利益又は中間純損失(△) | 46,180 | △125,466 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△) | 46,180 | △125,466 |

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|-----------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 中間純利益又は中間純損失(△) | 46,180 | △125,466 |
| 中間包括利益 | 46,180 | △125,466 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 46,180 | △125,466 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | — | — |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|-----------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△) | 76,875 | △68,441 |
| 減価償却費 | 308,593 | 366,232 |
| 減損損失 | — | 234,699 |
| のれん償却額 | 4,273 | 9,563 |
| 受取利息及び受取配当金 | △8,409 | △10,251 |
| 支払利息 | 783 | 1,490 |
| 助成金収入 | △1,092 | △659 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △2,143 | — |
| 固定資産除却損 | — | 9 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 31,536 | 27,531 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | 1,009 | 2,418 |
| 株式給付引当金の増減額(△は減少) | 20,811 | 17,978 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 137,290 | 220,417 |
| 前受収益の増減額(△は減少) | 779,638 | 798,892 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | △89,377 | △94,917 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | 99,538 | △217,946 |
| 小計 | 1,359,327 | 1,287,018 |
| 利息及び配当金の受取額 | 8,409 | 10,251 |
| 利息の支払額 | △783 | △2,491 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △105,258 | △158,843 |
| 助成金の受取額 | 1,092 | 659 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,262,787 | 1,136,593 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 20,000 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △316 | △10,330 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △507,620 | △332,349 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △99 | △26,545 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 155 | 400 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 4,950 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △96,519 | — |
| 吸収分割による支出 | — | △1,501,462 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △579,450 | △1,870,287 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | — | 1,822,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △7,322 | △78,604 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △308,167 |
| リース債務の返済による支出 | △427 | △726 |
| 配当金の支払額 | △169,478 | △203,711 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △177,228 | 1,230,791 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 506,109 | 497,096 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,260,527 | 1,422,050 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 1,766,636 | 1,919,146 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月17日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、当中間連結会計期間において当社株式582,200株、308,165千円の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間末において自己株式が896,478千円となっております。

(当中間期における連結範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間において、新たに設立した株式会社アドバンテッジメディカル（現商号：株式会社Mediplat）と株式会社アドバンテッジヘルスケア（現商号：株式会社フィッツプラス）を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | メンタリティ マネジメント事業 | 就業障がい者 支援事業 | リスクファイナン シング事業 | 合計 |
|-----------------------|--------------------|----------------|-------------------|-----------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,371,342 | 620,771 | 149,977 | 3,142,091 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — |
| 計 | 2,371,342 | 620,771 | 149,977 | 3,142,091 |
| セグメント利益 | 221,922 | 67,146 | 111,243 | 400,312 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 400,312 |
| 全社費用(注) | △334,847 |
| 中間連結損益計算書の営業利益 | 65,465 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メンタリティマネジメント事業」セグメントにおいて、ここむ株式会社及びResily株式会社の全株式を取得したことにより、のれんが286,899千円発生しております。当該のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定が反映されております。なお、暫定的な会計処理の確定による金額の変動はありません。

II 当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | メンタリティ マネジメント事業 | 就業障がい者 支援事業 | リスクファイナン シング事業 | 合計 |
|-----------------------|--------------------|----------------|-------------------|-----------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,508,666 | 710,331 | 141,046 | 3,360,044 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — |
| 計 | 2,508,666 | 710,331 | 141,046 | 3,360,044 |
| セグメント利益 | 298,758 | 115,206 | 97,422 | 511,387 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 511,387 |
| 全社費用(注) | △352,877 |
| 中間連結損益計算書の営業利益 | 158,509 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メンタリティマネジメント事業」セグメントにおいて、Resily事業にかかる固定資産について、投資額の回収が見込めなくなったことから減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において234,699千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「メンタリティマネジメント事業」セグメントにおいて、Resily事業にかかるのれんの未償却残高204,506千円を減損損失として特別損失に計上しております。なお、上記（固定資産に係る重要な減損損失）の中に当該のれんの減損損失も含めて記載しております。

また、「メンタリティマネジメント事業」セグメントにおいて、株式会社Mediplat及び株式会社フィッツプラスの全事業を吸収分割により承継したことにより、のれんが899,263千円発生しております。なお、のれんの金額は、当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。